

地球惑星科学委員会 IAVCEI 小委員会(第 2 回)  
議事録 (案)

1. 日時 平成 20 年 5 月 30 日 (金) 12 : 20 ~ 13 : 30
2. 会場 幕張メッセ国際会議場 1F ロビー
3. 出席者 : (順不同、敬称略)  
石原和弘 (京大防災研)・清水 洋 (九大理)・中田節也 (東大地震研)・藤井敏嗣 (東大地震研)・藤田英輔 (防災科研) 計 5 名 (欠席 ; 鍵山恒臣 (委任状あり)・高橋正樹・鶴川元雄)
4. 配布資料  
資料 1 前回議事録  
資料 2 国際対応分科会議事録(第 20 期第 1 回~第 5 回)  
資料 3 - 1 IUGG 分科会議事録  
資料 3 - 2 IUGG 分科会活動報告  
資料 4 IAVCEI 小委員会活動報告  
資料 5 地球惑星科学連合第 3 回国際委員会議事録 (案)  
資料 6 追加議題資料
5. 議事概要
  - (1) 前回議事録の確認について
    - ・配布資料の小修正の上承認した。
  - (2) 国際対応分科会活動報告
    - ・中田委員長より国際対応分科会での議論内容が紹介された。IAVCEI 総会への代表派遣申請は採択されなかった。
  - (3) IUGG 分科会活動報告
    - ・中田委員長より IUGG 分科会での議論内容が紹介された。また平成 19 年度の活動報告について HP 上で公開されている旨報告があった。
  - (4) IAVCEI 小委員会活動報告
    - ・中田委員長より IAVCEI 小委員会の平成 19 年度の活動報告について HP 上で公開されている旨報告があった。
  - (5) その他
    - ・藤田幹事より、5 月 27 日に開催された日本地球惑星科学連合国際委員会の報告があった。
    - ・中田委員長より IAVCEI 新体制、国別会員数、総会開催年変更などについて報告があった。
    - ・8 月 18-22 日アイスランドで開催の IAVCEI 総会への講演申込が 1250 件あった

ことが紹介された。

- ・中田委員長より、井口正人京大防災研准教授より提案されている IAVCEI 総会 2013 の日本招致について説明があり、意見交換を行った。その中で、下記問題点の指摘があった。

- 1) 個人からの提案となっており、まだ実施主体（コア）が不明。京大防災研火山活動研究センターを含む鹿児島県内の大学関係者だけでは対応できない。

- 2) 参加者が 1000 人を上回る規模になる国際会議であるので、会議運営のプロ（コンベンション会社）を参入させることが不可欠。経費管理、イベント企画、VISA 申請、渡航補助等手続き、会場設営、会議運営など、もろもろにプロの力がないと研究者レベルでは身動きがとれない。

- 3) IAVCEI 総会の開催地選定に当たっては「〇〇噴火〇〇周年記念」ということは判断材料としないので、サブタイトル『Centennial 1914 Sakurajima Eruption』を変更する必要がある。

井口氏には、これらの問題点へ対応を行い、それらを反映した提案書を作成することをお願いすることとした。

- ・鶴川委員から、防災科技研から複数委員があり、産総研の委員がいないことから、鶴川委員と産総研の代表とを交代したいとの申し出があった。火山学会の国際委員会ではこれことを考慮した委員構成としたが、本委員会の場合は任期期間が残り少ないので、第 21 期の再設置の際にこれを考慮することにした。
- ・今後予定されている IAVCEI 関連の国際会議を確認した。